

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 設置 (使用, 変更) 届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

富士市長 〇〇 〇〇 様

①

《水質汚濁防止法第5条及び第7条に基づく設置変更届》
…特定施設No. 23(イ)パルプ洗浄施設を1基廃止し、
1基増設するという計画の届出

〒417-8601

フリガナ フジシナガタチョウ チョウメ バンチ
住所 富士市永田町〇丁目〇〇番地
セイシカブシキガイシャ

届出者 〇〇製紙株式会社

フリガナ
氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

〔氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名〕

{ 水質汚濁防止法第5条第1項, 第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項, 第7条)
静岡県生活環境の保全等に関する条例第35条 (第36条第1項又は第2項, 第37条, 第38条) }

の規定により, 特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) について, 次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇製紙株式会社 〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		〒417-0001 富士市今泉〇〇〇-〇	※受理年月日	年 月 日
県生活環境保全条例第35条関係 第5条第1項関係	特定施設の種類	23(イ)(〜)(ト)(チ)	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙5のとおり。		
県生活環境保全条例第36条1項関係 第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙6のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙7のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙8のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙10のとおり。		

様式第1(裏面)

県生活環境保全条例第36条2項関係 第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙11のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙13のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙14のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、水質汚濁防止法施行令別表第1及び静岡県生活環境保全等に関する条例施行規則別表第6に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 7 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

● 特定施設設置(使用、変更)届出書

- ・ 届出者の提出部数は2部です。
1部を市で受付後、控えとしてお返しします。

- ・ 不要な部分は抹消線(——)で抹消してください。
消し方が分からない場合は、受付時に市が記入します。

〈例〉 特定施設の設置及び変更の場合(排水を公共用水域へ放流)

特定施設設置(~~有害物質貯蔵指定施設~~)(~~使用、変更~~)届出書

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は3項(第6条第1項又は2項)~~、第7条)

- ・ 届出者が法人の場合は、その名称と代表者の職名及び氏名を記入してください(代表者名には必ずフリガナをお願いします)。
- ※ 工場長等が代理で提出する場合は、代表者から代理者への委任状を添付してください。

- ・ 「工場又は事業場の名称」は、略称等ではなくフルネームを記入してください。

- ・ 「工場又は事業場の所在地」は、当該事業場の所在地を記入してください。

- ・ 「特定施設の種類」には、当該事業場にある全ての特定施設及びこれから設置しようとする特定施設の番号及び名称(水質汚濁防止法施行令別表第1及び県生活環境保全条例施行規則別表第6の番号と名称)を記入してください。

- ・ 「水濁法第5条第2項、県生活環境保全条例第36条関係」は、有害物質を含む排水を地下浸透させようとする場合にのみ該当しますが、有害物質の地下浸透は原則禁止です。
斜線で抹消してください。

- ・ 「水濁法第5条第3項、県生活環境保全条例第36条第2項関係」は、有害物質使用特定施設を設置する特定事業場で、排水を全量下水道へ放流する場合又は排水全量を産廃業者回収処理する場合に該当します。

なお、有害物質貯蔵指定施設を設置する事業場は、特定施設設置の有無、汚水排出先に関係なく水質汚濁防止法第5条第3項に基づく届出が必要です。また、有害物質貯蔵指定施設を設置する事業場は汚水が一切排出されない場合も届出が必要となります。

これらの施設に該当しない場合は斜線で抹消してください。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	パルパー No. 1, No. 2	エキストラクター No. 1～No. 4	漂白塔 No. 1	抄紙施設 No. 1, No. 2, No. 3
特定施設号番号及び名称	23(イ) 原料浸せき施設	23(～) パルプ洗浄施設	23(ト)漂白施設	23(チ)抄紙施設
型式	パルパー 〇〇製 〇〇-〇型	エキストラクター 〇〇製 〇〇〇〇型	漂白塔 〇〇製 〇〇〇-〇型	丸網ヤンキー 〇〇〇〇製 〇〇-〇型
構造	鉄製 縦型 バッチ式	ステンレス製 回転式	ステンレス製 縦型 バッチ式	鉄製 塗工装置式
主要寸法	3mφ×3m (容積20%)	4mφ×15m	4mφ×15m	ワイヤー幅 1.2m
能力	100t/日・基	50t/日・基	80t/日・基	30t/日・基
配置	別紙図面1のとおり	別紙図面1のとおり	別紙図面1のとおり	別紙図面1のとおり
設置年月日	昭和56年7月20日	昭和56年7月20日	昭和56年7月20日	昭和56年7月20日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項	同一施設の数:2基	同一施設の数:4基 1基廃止(3号機) 廃止予定日: 令和2年9月13日	同一施設の数:1基	同一施設の数:3基

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の構造

工場又は事業場 における施設番号	パルパー No. 1, No. 2	エキストラクター No. 1, 2, 4	ドラムスクリーン No. 1	漂白塔 No. 1	抄紙施設 No. 1, No. 2, No. 3
特定施設号番号 及び名称	23(イ)原料 浸せき施設	23(ヘ)パルプ洗浄施設		23(ト) 漂白施設	23(チ) 抄紙施設
型 式	パルパー 〇〇製 〇〇-〇型	エキストラクター 〇〇製 〇〇〇〇型	ドラムスクリーン 〇〇製 〇〇-型	漂白塔 〇〇製 〇〇〇-〇型	丸網ヤンキー 〇〇〇〇製 〇〇-〇型
構 造	鉄製 縦型 バッチ式	ステンレス製 回転式	ステンレス製	ステンレス製 縦型 バッチ式	鉄製 塗工装置式
主 要 寸 法	3mφ×3m (容積20%)	4mφ×15m	4mφ×15m	4mφ×15m	ワイヤー幅 1.2m
能 力	100t/日・基	50t/日・基	45t/日・基	80t/日・基	30t/日・基
配 置	別紙図面1の とおり	別紙図面1の とおり	別紙図面1の とおり	別紙図面1の とおり	別紙図面1の とおり
設 置 年 月 日	昭和56年7月20日	昭和56年7月20日	年 月 日	昭和56年7月20日	昭和56年7月20日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日	令和2年9月13日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日	令和2年9月30日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日	令和2年10月1日	年 月 日	年 月 日
その他参考となる べき事項	同一施設の 数:2基	同一施設の 数:3基	同一施設の 数:1基 新 設	同一施設の 数:1基	同一施設の 数:3基

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

● 別紙1 特定施設の構造

- ・ 当該事業場にある全ての特定施設について(増設等の場合、既設分についても)記入してください。
変更等がある場合は、変更前／後を対照させるように記載し、表の右上に変更前／後を記載してください(添付する図面についても対照させてください。)
 - ・ 「工場又は事業場における施設番号」には、当該工場又は事業場内の全施設のうち、当該特定施設を特定するために当該工場又は事業場において用いている番号、名称等があればそれを記入してください。
 - ・ 「特定施設の番号及び名称」には、水濁法施行令及び県生活環境保全条例施行規則での番号と名称を記入してください。
 - ・ 「形式」には、具体的な装置名、メーカー名及び型番号等を記入してください。
 - ・ 「構造」には、装置の材質、方式等を記入してください。
 - ・ 「能力」には、生産能力、処理能力、容量等を記入してください。
 - ・ 「配置」には、建屋内のどの位置に特定施設があるかを記入してください。
別添図面で図示しても結構です。
 - ・ 「設置年月日」には、既設の特定施設の設置年月日を記入します。
通常は、当該施設を設置した時の工事着手日を記載します。
 - ・ 「工事着手予定年月日」「工事完成予定年月日」「使用開始予定年月日」には、新設の特定施設の場合、既設の特定施設を改造する場合等に記入します。
- ※ 受付日より60日間は工事着手を行うことはできません。
工事着手予定年月日と市の受付日との間に、中60日以上空くようにゆとりをもって届出を行ってください。
- ※ 実施制限期間短縮願について、当市では原則、放流水質を改善させる工事等の場合に受理しており、特定施設を増設する場合や、負荷量が増加する場合には受理していません。
- ・ 「その他参考となるべき事項」には、同一施設の数等を記入してください。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	パルパー No. 1, No. 2		エキストラクター No. 1～No. 4		漂白塔 No. 1		抄紙施設 No. 1, No. 2, No. 3		
特定施設番号及び名称	23(イ) 原料浸せき施設		23(へ) パルプ洗浄施設		23(ト) 漂白施設		23(チ) 抄紙施設		
設置場所	別紙図面1のとおり		別紙図面1のとおり		別紙図面1のとおり		別紙図面1のとおり		
操業の系統	別紙資料のとおり		別紙資料のとおり		別紙資料のとおり		別紙資料のとおり		
使用時間間隔	8:00～16:00		7:00～7:00		7:00～7:00		7:00～7:00		
1日当たりの使用時間	8時間		24時間		24時間		24時間		
使用の季節的変動	なし		なし		なし		なし		
原材料(消耗資材を含む。)の種類,使用方法及び1日当たりの使用量	(1基あたり) 古紙(パルプ原料) 100t /日 苛性ソーダ(離解剤) 400kg/日 界面活性剤(離解剤) 30kg/日		(1基あたり) 古紙パルプ (パルプ洗浄) 80t /日		(1基あたり) 古紙パルプ (漂白洗浄) 80t /日 過酸化水素 (漂白洗浄) 800kg/日		(1基あたり) 古紙パルプ (抄紙) 80t /日		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	pH			8～9		8～9		8～9	
	COD (mg/L)			550	600	400	450	130	150
	SS (mg/L)			2200	2500	1500	1800	300	350
汚水等の量 (m ³ / 日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	0	0	2500	3000	2000	2200	4000	4300	
その他参考となるべき事項	苛性ソーダ 10%溶液		1基廃止(3号機) 令和2年9月13日		過酸化水素水 2%溶液				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	パルパー No. 1, No. 2		エキストラクター No. 1, 2, 4		ドラムスクリーン No. 1		漂白塔 No. 1		抄紙施設 No. 1, No. 2, No. 3		
特定施設番号及び名称	23(イ)原料浸せき施設		23(へ)パルプ洗浄施設				23(ト)漂白施設		23(チ)抄紙施設		
設置場所	別紙図面1のとおり		別紙図面1のとおり		別紙図面1のとおり		別紙図面1のとおり		別紙図面1のとおり		
操業の系統	別紙資料のとおり		別紙資料のとおり		別紙資料のとおり		別紙資料のとおり		別紙資料のとおり		
使用時間間隔	8:00~16:00		7:00~7:00		7:00~7:00		7:00~7:00		7:00~7:00		
1日当たりの使用時間	8時間		24時間		24時間		24時間		24時間		
使用の季節的変動	なし		なし		なし		なし		なし		
原材料(消耗資材を含む。)の種類,使用方法及び1日当たりの使用量	(1基あたり) 古紙(パルプ原料) 100t/日 苛性ソーダ(離解剤) 400kg/日 界面活性剤(離解剤)30kg/日		(1基あたり) 古紙パルプ(パルプ洗浄) 80t/日		(1基あたり) 古紙パルプ(パルプ洗浄) 80t/日		(1基あたり) 古紙パルプ(漂白洗浄) 80t/日 過酸化水素(漂白洗浄) 800kg/日		(1基あたり) 古紙パルプ(抄紙) 80t/日		
汚水等の汚染状態	通常	最大	通常	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
				8~9		8~9		8~9		8~9	
				550	600	550	600	400	450	130	150
				2200	2500	2200	2500	1500	1800	300	350
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	通常	最大	通常	最大	最大	最大	通常	最大
	0	0	1875	2250	625	750	2000	2200	4000	4300	
その他参考となるべき事項	苛性ソーダ 10%溶液					新設		過酸化水素 水2%溶液			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

● 別紙2 特定施設の使用の方法

- ・ 変更等がある場合は、変更前／後を対照させるように記載し、表の右上に「変更前」「変更後」と記載してください。(添付する図面についても対照させてください)
- ・ 「工場又は事業場における施設番号」「特定施設番号及び名称」については、別紙1と同じものを記入してください。
- ・ 「操業の系統」には、特定施設を含む操業の系統について記入してください。
- ・ 「使用の季節変動」には、使用時間等に季節変動がある場合、変動の状況を記入してください。変動がない場合は、なしと記入してください。
- ・ 「原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量」には、特定施設を含む作業工程において使用する原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量について記入してください。特に、有害物質、重金属等を含む原材料等は正確に記入してください。
- ・ 「汚水等の汚染状態」には、特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水、廃液等について、pH、BOD(またはCOD)、SSの他、有害物質や重金属を使用している場合は、それらの項目についても記入してください。
汚水等を循環使用、産廃業者回収処理する場合も汚染状態を記入してください。
実測データに即して記入できない場合は、計算値等により記入してください。
- ・ 「汚水等の量」には、当該特定施設から排出される汚水や廃液等の量を記入してください。
(当該特定事業場全ての排水量ではないので注意してください)
その際、「汚水等の量」が、別紙3(汚水等の処理の方法)、別紙4(排出水の汚染状態および量)、別紙5(用水及び排水の系統に記載した水量)と整合性がとれていることを確認してください。
- ・ 「その他参考となるべき事項」には、汚水等が循環使用される場合や廃棄物として産廃業者回収処理される場合はその旨とともに、回収、引き抜き等の頻度や回収引き抜き量を記入してください。
上記内容の他に、当該特定施設以外の施設及び工程等で有害物質を使用している場合には、その物質名や使用量等を記入してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1排水処理施設 (凝集沈殿槽)		No. 2排水処理施設 (活性汚泥槽)						
処理施設の設置場所	別紙図面1のとおり		別紙図面1のとおり						
設置年月日	昭和56年 7月 20日		平成12年 8月 10日						
工事着手予定年月日	年 月 日		年 月 日						
工事完成予定年月日	年 月 日		年 月 日						
使用開始予定年月日	年 月 日		年 月 日						
種類及び型式	連続式		自動連続式						
構造	コンクリート製		コンクリート製						
主要寸法	10mφ×8m		曝気槽40m×10m×5m						
能力	10,000m ³ /日		10,000m ³ /日						
処理の方式	凝集沈殿処理		生物処理						
処理の系統	別紙図面2のとおり		別紙図面2のとおり						
集水及び導水の方法	別紙図面2のとおり		別紙図面2のとおり						
使用時間間隔	連続		連続						
1日当たりの使用時間	24時間		24時間						
使用の季節変動	なし		なし						
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	凝集剤 硫酸バンド 300kg/日 高分子凝集剤 50kg/日		活性汚泥栄養剤 アンモニア水 1500kg りん酸 50kg						
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	8~9	6~8			6~8	6~8		
	COD (mg/L)	450	200	500	300	200	400	300	450
	SS (mg/L)	1300	80	1500	100	80	1000	100	1200
量 (m ³ /日)	8500	8500	9000	9000	8500	8500	9000	9000	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	ペーパースラッジ絶乾500トン (1400t、水分64%)				返送(No. 1排水処理施設へ)				
排出水の排出方法	全量No. 2排水処理施設へ				全量No. 3排水処理施設へ				
その他参考となるべき事項	自社焼却後、焼却灰は産廃処理業者にて処理(灰:100t/月)								

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 3排水処理施設 (凝集沈殿槽)								
処理施設の設置場所	別紙図面1のとおり								
設置年月日	平成12年	8月	10日	年	月	日			
工事着手予定年月日	年	月	日	年	月	日			
工事完成予定年月日	年	月	日	年	月	日			
使用開始予定年月日	年	月	日	年	月	日			
種類及び型式	連続式								
構造	コンクリート製								
主要寸法	12mφ×8m								
能力	10,000m ³ /日								
処理の方式	凝集沈殿処理								
処理の系統	別紙図面2のとおり								
集水及び導水の方法	別紙図面2のとおり								
使用時間間隔	連続								
1日当たりの使用時間	24時間								
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	凝集剤 硫酸バンド 300kg/日 高分子凝集剤 50kg/日								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6~8	6~8						
	COD (mg/L)	400	40	450	50				
	SS (mg/L)	1000	30	1200	50				
量 (m ³ /日)	8500	8500	9000	9000					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	ペーパースラッジ絶乾500t (1400t、水分64%)								
排出水の排出方法	全量総合排水口へ								
その他参考となるべき事項	自社焼却後、焼却灰は産廃処理業者にて処理(灰:100t/月)								

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

● 別紙3 汚水等の処理の方法

- ・ 当該事業場にある全ての処理施設(浄化槽等含む)について記入してください。
変更等がある場合は、変更前／後を対照させるように記載し、表の右上に「変更前」「変更後」と記載してください。(添付する図面についても対照させてください)
- ・ 「工場又は事業場における施設番号」には、当該工場又は事業場内の全施設のうち、当該処理施設を特定するために当該工場又は事業場において用いている番号、名称等があればそれを記入してください。
- ・ 「設置年月日」には、既設の処理施設の設置年月日を記入します。
通常は、当該施設を設置した時の工事着手日を記載します。
- ・ 「工事着手予定年月日」「工事完成予定年月日」「使用開始予定年月日」には、新設の処理施設の場合、既設の処理施設を改造する場合等に記入します。
- ※ 受付日より60日間は工事着手を行うことはできません。工事着手予定年月日と市の受付日との間に、中60日以上空くようにゆとりをもって届出を行ってください。
- ※ 実施制限期間短縮願について、本市では、原則、放流水質を改善させる工事等の場合に受理しており、特定施設を増設する場合や、負荷量が増加する場合には受理していません。
- ・ 「処理の系統」には、処理のプロセスを簡潔に記入してください。
別添図面で図示しても構いません。
- ・ 「集水及び導水の方法」には、各汚水の処理施設までの集水及び導水の方法について記入してください。
別添図面で図示しても構いません。
- ・ 「消耗資材の1日当たりの用途別使用量」には、汚水等の処理施設において中和、凝集、酸化その他の反応の用に供する消耗資材の1日当たりの用途別使用量を記入してください。
- ・ 「汚水等の汚染状態及び量」には、当該処理施設で処理される汚水等の処理前／後の水量及び水質を記入してください。
汚水等の量については、別紙2特定施設の使用の方法、別紙4排出水の汚染状態および量、別紙5(用水及び排水の系統に記載した水量)と整合性がとれていることを確認してください。
(処理施設を通らない冷却水等がある場合は、別紙4の排出量、水質と必ずしも同じ値になるとは限りません)
実測データに即して記入できない場合は、計算値等により記入してください。
- ・ 「残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法」には、汚水等の処理によって生ずる残さの種類(例. ペーパースラッジ、浄化槽汚泥、金属スラッジ等)及び1月間の種類別生成量並びにその処理の方法の概要を記入してください。
- ・ 「排出水の排出方法」には、処理施設排出水の排出先を記入してください。

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		総合排水口			
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6.0~8.0			
	COD (mg/L)	40	50		
	SS (mg/L)	30	50		
排水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		8500	9000		
その他参考となるべき事項		排水の排出先 (岳南排水路2号) を経て 井 (田子の浦港) へ 海		排水の排出先 () を経て 川 () へ 海	

備考 排水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

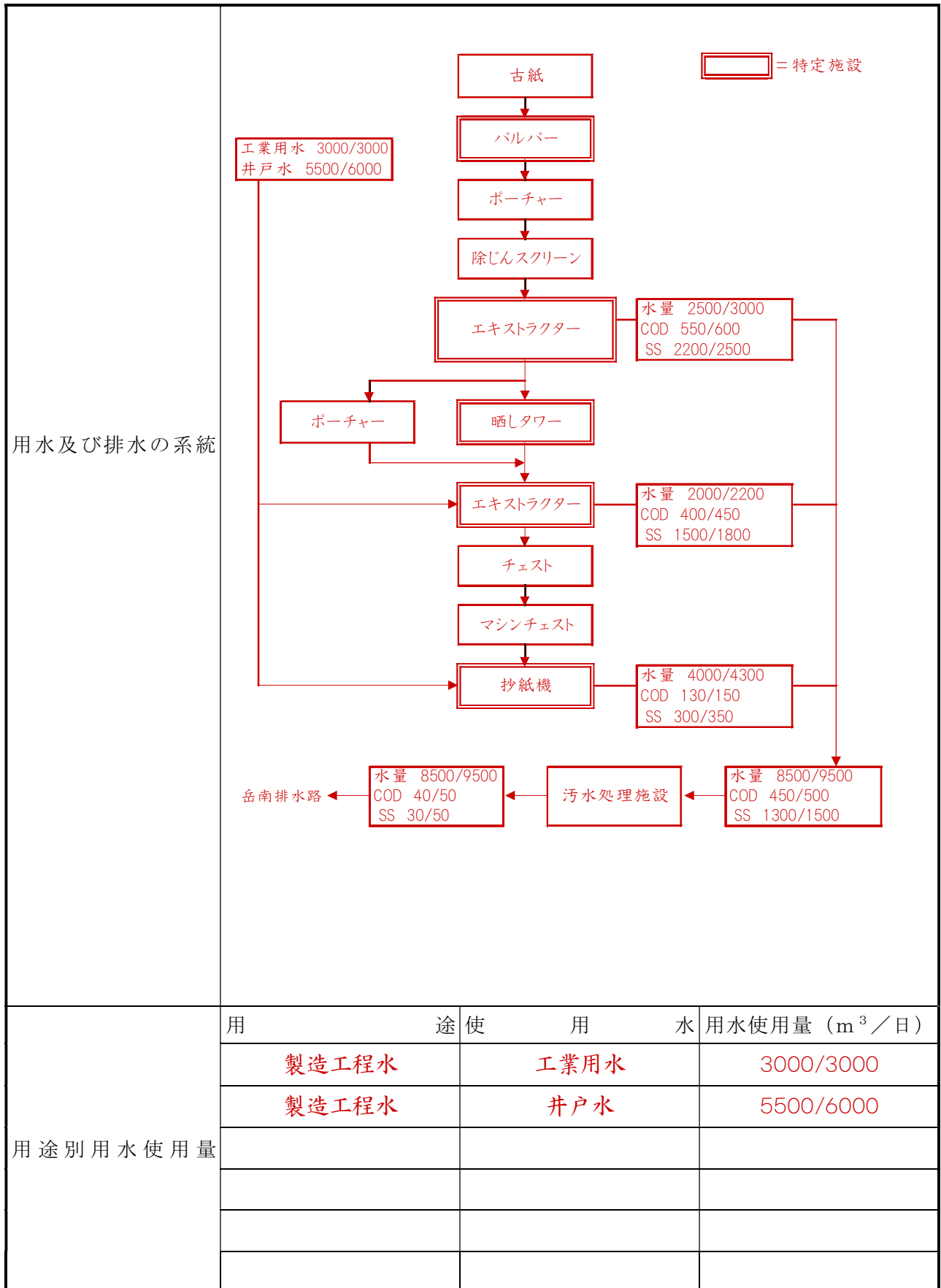
● 別紙4 排出水の汚染状況及び量

- ・ 当該事業場等から公共用水域に水を排出する全ての排出口について、各々の排出口別に記入してください。(工程排水のみならず、冷却水、生活系排水、雨水等も含む)
変更等がある場合は、変更前／後を対照させるように記載し、表の右上に「変更前」「変更後」と記載してください。
- ・ 「工場又は事業場における施設番号」には、当該工場又は事業場内の全施設のうちから当該排水口を特定するために当該工場又は事業場において用いている番号、名称等があればそれを記入してください。
その際、添付図面等に記載した表示と一致させてください。〈例〉総合排水口、場外東排水口
- ・ 「排出水の汚染状況」には、pH、BOD(またはCOD)、SSの他、当該特定事業場で使用している有害物質及び重金属並びに処理施設で処理している物質等について、各項目の水質の通常値(通常の操業状態の平均的な値)と最大値を記入してください。
実測データに即して記入できない場合は、計算値等により記入してください。
- ・ 「排出水の量」には、各排水口毎に排出水の量を記入してください。実測データがない場合は、用水量等により記入してください。
排出水の量については、別紙2(特定施設の使用の方法)、別紙3(汚水等の処理の方法)、別紙5(用水及び排水の系統)に記載した水量と整合性がとれていることを確認してください。
- ・ 「その他参考となるべき事項」内の「排出水の排出先」には、()内に河川等の名称を記入してください。
最終の排出先について、河川排出の場合は、名前が明確な(生活環境の保全に関する環境基準の類型指定がされているような)1級又は2級河川等を記入してください。
〈例〉側溝や水路を經由して海又は湖に排出している場合
…(側溝)を経て(潤井)川へ
直接に海又は湖に排出している場合
…()を経て(直接 駿河湾)へ

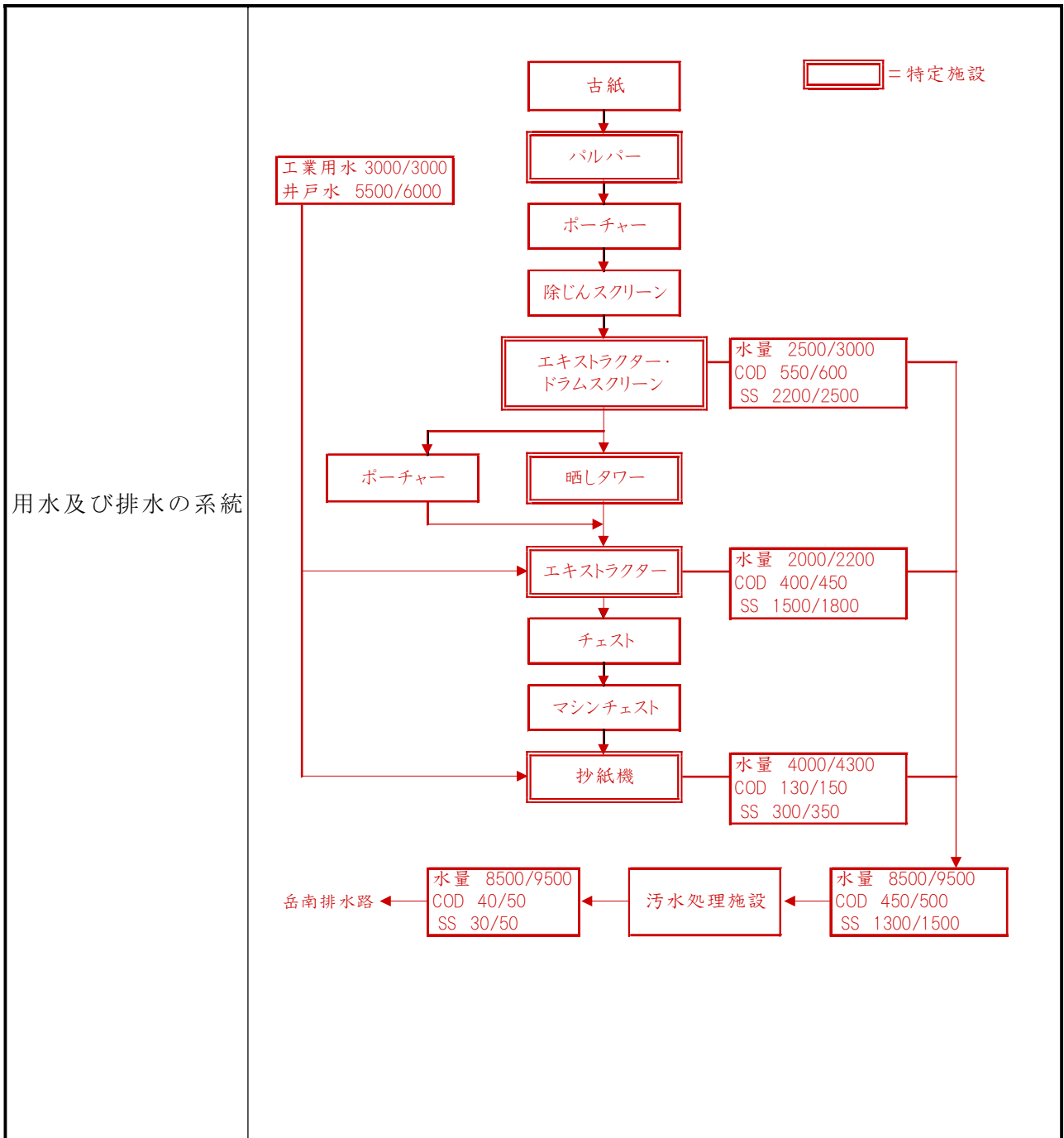
★ 排水負荷量の増加について

当市では、既設の特定事業場について、原則排水負荷量の増加を認めておりません。排水量の増加、届出項目の追加等により排水負荷量が増加する可能性がある場合については、実情に合わせて届出値の変更等を指導しておりますので、事前に御相談願います。(協議の結果、負荷量を増加する場合は、変更する90日前までに事前協議書を提出する必要がある場合があります。)
また、新設予定の特定事業場の場合も、届出値については事前に御相談願います。

用水及び排水の系統



用水及び排水の系統



用途別用水使用量	用	途使	用	水	用水使用量 (m ³ /日)
		製造工程水		工業用水	
	製造工程水		井戸水		5500/6000

参考事項

※業種 (分類項目名)	製紙業	※細分類番号	○	○	○	○
主要製品	トレットペーパー	担当部課係名	工務部動力課環境管理係			
		フリガナ	フジ タロウ			
		担当者職氏名	富士 太郎			
		フリガナ	フジ ジロウ			
		公害防止管理者	富士 次郎			
工場又は事業場の従業員数	100 人	工場又は事業場の電話番号	0545-〇〇-〇〇〇〇			
資本金	500 百万円	本社電話番号	0545-〇〇-〇〇〇〇			
水質汚濁防止法による初回届出	昭和56年 12月 10日					
環境マネジメントシステム導入の有無 (自社構築を含む)	無・有 { 審査登録 機関名： 自社構築 年 月 日 登録・構築 }					
今回の届出の概要	No. 23(へ)パルプ洗浄施設 エキストラクター 1基廃止 No. 23(へ)パルプ洗浄施設 ドラムスクリーン 1基設置 に伴う設置変更届です。 今回の特定施設の設置変更に伴い、排水量及び排水負荷量の変更はありません。					
規模要件のあるもの	特定施設番号	要件	規模	特定施設番号	要件	規模
	1の2(イ)	豚房の総面積	m ²	6 6 の 6	業務の用に供する部分の総面積	m ²
	1の2(ロ)	牛房の総面積	m ²	6 6 の 7	同上	m ²
	1の2(ハ)	馬房の総面積	m ²	6 8 の 2	病床数	床
	6 4 の 2	浄水能力	m ³ /日	6 9 の 3	水産物に係る売場面積	m ²
	6 6 の 3	業務の用に供する部分の総床面積	m ²	7 0 の 2	屋内作業場の総床面積	m ²
	6 6 の 4	同上	m ²	7 1 の 3	焼却能力 火格子面積	kg/時 m ²
6 6 の 5	同上	m ²	7 2	人槽	人槽	
市町村役場 記入欄	所属水域			下水道処理 区分の有無	有 ・ 無	

※ 業種欄は、日本標準産業分類（平成5年10月改訂版）による細分類番号、分類項目名を記入すること。

● 別紙5 用水及び排水の系統

- ・「用水及び排水の系統」には、フロー図等で当該特定事業場の全ての用水及び排水の系統を記入してください。水量及び水質についても記入してください。(用水は青、排水は赤で色分けをしてください)
別添図面でフロー図等を添付しても構いません。
変更等がある場合は、変更前／後を対照させるように記載し、表の右上に「変更前」「変更後」と記載してください。(添付する図面についても対照させてください)
水量については、別紙2(特定施設の使用の方法)、別紙3(汚水等の処理の方法)、別紙4(排水の汚染状態及び量)に記載した水量と整合性がとれていることを確認してください。
- ・「用途」には用水の使用用途(ボイラー用水、原料用水、洗浄水、冷却水等)を記入して下さい。
- ・「使用水」には、用水の種類(上水道、工業用水、地下水、河川水、海水等)を記入して下さい。
- ・「用水使用量」には、使用する水量の平均水量、最大水量を記入してください。

※ 参考事項

- ・「業種」「細分類番号」には、日本標準産業分類により、当該特定事業場が該当する分類項目及び細分類番号を記入してください。
- ・「担当部課係名」「担当者職氏名」には、当該届出に係る担当部課係名及び担当者の職氏名(=届出内容の問い合わせ先)を記入してください。
- ・「公害防止管理者」には、『特定工場における公害防止組織の整備に関する法律』に基づいて公害防止管理者を選任している場合に記入してください。
- ・「工場又は事業場の従業員数」には、当該特定事業場において常時使用している従業員数(パート含む)を記入してください。
- ・「水質汚濁防止法による初回届出」には、当該特定施設に係る最初の設置届の受理年月日(市の受付年月日)を記入してください。
- ・「規模要件のあるもの」には、特定施設番号に掲げている施設を持つ工場等のみ、その右欄に掲げている要件の規模を記入してください。「市町村記入欄」は、記入不要です。

その他必要な添付資料

- ・ 工場敷地図(特定施設、処理施設の配置、水質測定個所、用排水の流れを示したもの)
- ・ 新設施設(特定施設及び処理施設)の構造図面、計算書などの資料等
- ・ 工場案内図
- ・ その他(環境保全課との協議により提出を求められたもの)

※ 変更等がある場合は、変更前／後を対照させるように記載し、表の右上に「変更前」「変更後」と記載してください。